

千代田区景観まちづくり重要物件

9-4

到着殿

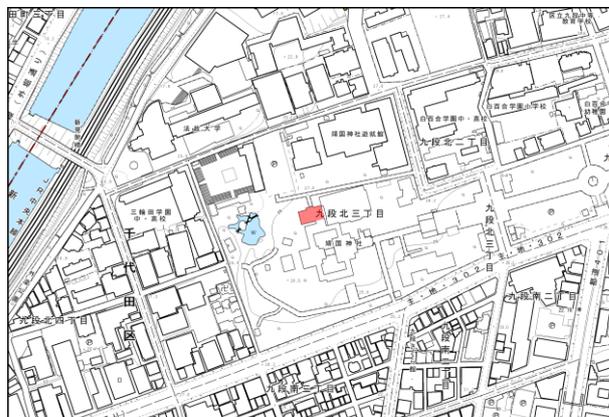
指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

所在地 九段北三丁目 1 番 1 号

設計者 奥本五市

竣工 1932（昭和 7）年

文化財等
指定状況



▲到着殿

歴史・文化的特徴

靖国神社は 1869（明治 2）年、国内外での戦争などで戦没した軍人などを祀るための神社として創建されました。初めは東京招魂社と呼ばれていましたが、1879（明治 12）年に靖国神社と改称されています。

到着殿は、靖国神社に参拝する華族や政府要人、外国からの賓客が利用するものとして造られ、当初「記念館」とも呼ばれました。また、地方から参拝に来た遺族の控え室にも使われました。

意匠・構造の特徴

木造平屋で、江戸時代の藩邸や、近代では華族などの邸宅の玄関に使われた大振りな唐破風の車寄せが、賓客用の玄関を象徴する、近代和風の一典型です。二重垂木や柱頭の舟肘木など、神社であることを意識しているのが特徴となっています。